

滝二小 学校だより



北区立滝野川第二小学校
学校長 廣中洋子

〒114-0023 北区滝野川 6-19-4
03-3916-3278

[http://www.kita-kyo.ed.jp/~es36/
es36@kita-kyo.ed.jp](http://www.kita-kyo.ed.jp/~es36/es36@kita-kyo.ed.jp)

6月号 2006年 6月5日 発行

6月の生活目標

なかよく
遊ぼう

授業公開・合同スポーツ

副校長 石川 喜三郎

先日の授業公開日には、多数の保護者の皆様においでいただきありがとうございました。受付の名簿に印を付けてくださった方の総数は、456名の児童数を超えておりました。皆様の学校への期待の大きさと授業中の子どもたちの様子についての関心の高さを真摯に受け止め、より子どもたちが自分の持っている力を発揮し、磨き、高めることのできる授業を目指していきたくと考えています。

現代社会では、基礎的・基本的な力の育成の重要性が大きく取り上げられています。本校では、「自分の思いや考えを伝えることができる力を育てること」が、学習のもとになっているという考えに立っています。このような発信することは、相手の思いや考えを受け止めるという、裏側の受信の面も同時に満たしていかななくてはなりません。また、日常生活に目を向けると、豊かな心情に支えられた学力と体力の充実が課題となってきます。

授業公開の中で、一人ひとりの子どもたちは、自分の力を発揮している場面が見られたことと思います。また、十分出し切れないでいる様子も見付けられたと思います。常に、今もっている力を出し切って物事に当たることができるように、担任が、授業の進め方を工夫したり、話題をより関心のわくものに工夫したりしていきます。そうした授業を子どもに近づけていくことを通して、授業にかかわる子どもたち自身が、自分で問題を見付け、自分の力で解決を試みようとする強い気持ちを持ち、粘り強く取り組み続ける態度を高めなくてはなりません。

年間に5回のべ7日間予定されている授業公開が、回を重ねるごとに、子ども自身の成長を確かめられるように、学習指導の面は主に学校が、基本的な躰の面は主に家庭がというように、それぞれの立場を生かした連携を図り、子どもたちのさらなる向上を支え続けていきたくと考えています。

6月の予定

日	曜	予 定	日	曜	予 定
1	木		16	金	4組交流(豊川小) 授業交流(紅葉中)
2	金	委員会	17	土	(寺子屋・校庭開放)
3	土	(寺子屋・校庭開放)	18	日	(校庭開放)
4	日		19	月	全校朝会
5	月	全校朝会 プール開き 4年事前検診	20	火	社会科見学(6年)
6	火	岩井移動教室(4年)	21	水	児童集会
7	水	岩井移動教室(4年)	22	木	特別時程 日生劇場観劇 教育研究日 1年1組、2年1組のみ5時間授業
8	木	音楽鑑賞教室(6年) 読み聞かせ(朝)	23	金	クラブ
9	金	安全指導	24	土	(寺子屋・校庭開放)
10	土	(寺子屋・校庭開放)	25	日	(校庭開放)
11	日	(校庭開放)	26	月	全校朝会
12	月	全校朝会	27	火	交通安全教室(3~6年)
13	火	美術館鑑賞教室(5年) 読み聞かせの会 A E T	28	水	児童集会 研究会(6年2組のみ5時間授業)
14	水	音楽朝会 引き取り訓練 A E T	29	木	
15	木	代表委員会 読み聞かせ(昼) A E T ブックトーク(滝野川西図書館 5年)	30	金	クラブ

家庭訪問と個人面談

教務部

家庭訪問・個人面談のお知らせを配布致しました。

そもそも、家庭訪問・個人面談は、何のために行うのでしょうか。学校が考えていることをお伝えします。

基本的には、個人の学校での生活の様子や学習の様子などをお伝えします。家庭訪問にあっては、さらに、自宅の位置確認、自宅周囲の遊び場や安全の点検なども加わります。今回は、2, 3, 4, 6年生には、4月に行った基礎・基本の達成度調査の結果についてもご報告します。

この調査について大切なことは、学級や区の平均との関係（何点勝ったか）ではなく、何%達成しているのか、残りの何%も達成するためにどうしたらよいかということです。ここでも、間違った問題をやり直してできたかだけではなく、どんな内容についての問題で、どのような誤りをしているのか、その原因はどのようなところにあるのか、そして、どのような学習をしていったらよいかを知り、試すことです。

また、子どもたちのよりよい生活のために、普段感じていることや期待していることなどもお知らせいただきたいと思います。

水泳指導

体育部

5日(月)に、プール開きを行います。

6年生では、全員が25m泳ぎ切れることを目指しています。夏休み中のプールに数多く参加しているうちに、泳ぎのこつを体得し、泳げるようになった子どもたちもたくさんいます。例えば、流れるプールをして、水の流れに乗ってスーッと体が浮いて動いていく感覚を真似ていくと、力を抜いて体を伸ばすことにつながります。また、パタ足をして、進んでいるからといって、膝から下が曲がっていてよいかというとそういうわけではありません。自然に伸ばし、脚全体を動かし、足の親指が触れ合うようにしていく必要があります。教えられたことを素直に受け入れ、自分なりにできるように練習を重ねることが上達の第一歩です。指導を受けるときには、自分のそれまでのことにこだわることなく、素直に受け入れることが重要です。

6年生が、八千代銀行のところで車にひかれ全治1ヶ月の大けがをしました。早く回復して、一日も早く学校に来られるようになって欲しいと思います。自転車の乗り方や道路の横断など十分に気を付けて、安全に過ごして欲しいと願っています。



5月の

子どもたち

ブックトーク
一年
たくさん本の紹介をしていただきました。



合同スポーツリレー大会

高学年



二・三年

